

子ども支援事業 アンケートの取組の詳細

学校教育部 学校教育課
教育支援課

1 概要

いじめや不登校の未然防止、早期発見・早期対応に取り組むにあたっては、児童生徒の心身の状態の変化やうまく表現できない小さな SOS に早期に気付くことが大切である。

そのため、「学校適応感尺度（以下、ASSESS と表記）」及び「より良い学級のための尺度（以下、B-SAFE と表記）」を実施する。この結果を踏まえ、教職員一人一人の児童生徒理解力向上を図るとともに、児童生徒の学校適応感を高める学級・学校づくりを総合的に支援する。

2 実施するアンケートとその特徴

(1) ASSESS（学校適応感尺度）

本人の主観的な「うまくやっているとと思っている感覚」を重視し、子ども全体を包括的かつ多面的に判断する測定ツール。なお、学校以外の場での適応状態も推測できる。

以下の観点で、子どもの適応感を把握する。

- ア 生活満足感（家庭生活を含めた全体的な適応感）
- イ 教師サポート（先生からサポートを受けていると感じているかどうか）
- ウ 友人サポート（友人からサポートを受けていると感じているかどうか）
- エ 向社会的スキル（自分から周りに働きかけられると感じているかどうか）
- オ 非侵害的関係（被害感（いじめ）がないと感じているかどうか）
- カ 学習的適応（学習はうまくやれていると感じているかどうか）

(2) B-SAFE（より良い学級のための尺度）

ネットいじめを含む「いじめ」にまつわる様々な状況をつかみ、学級・学校が対策を講じるための測定ツール。

以下の機能で、いじめの実態を把握する。

- ア 実態把握機能（いじめ加害・いじめ被害・ネットいじめ）
- イ いじめに対する本人の処理能力測定機能
- ウ いじめに対して、先生や友人がサポートしてくれるかを、本人がどう感じているかを測定する機能
- エ いじめに対する学校の風土を、子どもがどのように捉えているのかを把握する機能

3 実施について

- (1) 方 法 一人一台タブレット端末を活用
- (2) 対 象 小学校5年生、中学校2年生
- (3) 実施回数及び時期 3回（8月下旬～9月、11月～12月、2月～3月）

4 予算額について

アンケート3回分/年・・・550円/人×3,630人=1,996,500円

ASSESSについての解説本・・・2,200円/冊×35校分=77,000円

合 計 2,073,500円

※ 歳入：新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）補助率1/2